

# すこやか 健保



知っておきたい！健保のコト

VOL.57

## 医療費通知を活用して確定申告を

2023年分の確定申告の受付期間は2月16日から3月15日です。健保組合等保険者が発行した医療費通知（原本、必須記載事項あり）を添付することによって、確定申告の「医療費控除」（上限200万円）に活用できます。一方21年までの時限措置であった「セルフメディケーション税制（以下、セルメ税制）」は26年末まで延長されました。それぞれ何が控除の対象になるか確認してみましょう。

セルメ税制は、スイッチOTC医薬品（医療用から転用された医薬品でパッケージやレシートに識別マークが付いています）の世帯での年間購入費が1万2000円以上の場合、超えた金額（上限8万8000円）を所得から控除できる仕組みです。ただし、医療費控除との併用ができず、どちらか一方しか申告できません。

まず、医療費通知や医療費関連のレシートで実際に支払った額が年間10万円を超えていたかを確認してください。超えていない場合は、セルメ税制対象の医薬品の合計額が1万2000円以上であれば、超えた額をセルメ税制で申告できます。医療費控除も対象となる場合は、どちらを選択した方がお得か計算してみると良いでしょう。

また、医療費控除はマイナンバーカードを持っていれば、マイナポータルと連携したe-Tax申告もできます。詳しくは下のQRコードで確認を。

医療費控除を受ける方へ  
(国税庁:令和5年分 確定申告特集)



年生まれの人口は、約1005万人（男性488万人、女性517万人）、十二支の中では9番目の低さです。2005年生まれの新成人人口は約106万人（18歳）で前年より6万人減少と過去最低を更新し、少子化が進んでいるのが見て取れます。

政府は、少子高齢化対策に向けて昨年、全世代型社会保障制度の構築に向けた健保法の改正やマイナンバー法等の改正を行ったほか、「異次元の少子化対策」の一環として、いわゆる「年

大な被害が生じ、2日には痛ましい航空機事故も起きました。亡くなられた方がたにはお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方がたにお見舞い申しあげます。一日も早く日常生活に戻されることを願つてやみません。

今年は思いもかけない出来事から始まりましたが、一方で我が国の少子化はとどまるところを知りません。昨年末、総務省が公表した辰

年（2024年）の「少子化対策の財源を確保するための「支援金制度」の具体化に向けた検討が見込まれますが、徹底した歳出改革も行うなど現役世代の理解を得ることが求められます。ご存じのように2025年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、これ以降、生産年齢人口の減少が加速化する一方、高齢者は増え続けます。今こそ、「2025年以降」を見据え、医療保険制度の持続性を確保していくための議論を始めることが必要です。

## 止まらない少子化、高齢者の増加 2025年以降を見据えた議論を

★ Special issue



す  
こ  
や  
か  
特  
集

# 足がつる、むくむ、血管が浮き出ている……かもしかして下肢静脈瘤

足のすねやふくらはぎにクモの巣のような細かい血管が拡がっていたり、ウネウネとした太い血管が浮き出たりしていませんか？

実はそれは「下肢静脈瘤」という病気の疑いがあります。

足がつる、むくむなど足の不調は生活の質を低下させ、見た目が悪いために審美面での悩みにもつながります。

現在、下肢静脈瘤専門クリニックの院長として

開院以来4000件を超える下肢静脈瘤の治療実績を持つ斎藤陽先生に話をお聞きしました。



## 目に見える血管の異常は静脈の「弁」の故障が原因

まずは「セルフチェック」をしてみましょう。該当する項目がある人は、太ももやひざ裏の毛細血管が目立っていないか、足のすねやふくらはぎの血管が浮き出でていないかを確認してください。当てはまる症状があれば、下肢静脈瘤の疑いがあります。

人の血管には、心臓から酸素や栄養素を筋肉の間を走る「表在静脈」と筋肉の中を

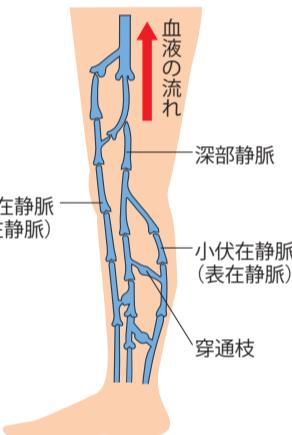
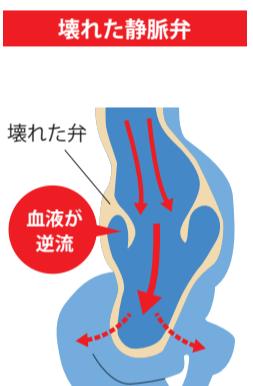
この弁の機能が悪くなったり、壊れたり

すると、血液が逆流して下肢にたまり下肢静脈瘤が発症するのです。静脈が膨らんだり、ウネウネと曲がったりするのは、弁の異常による症状です。足の静脈には、皮膚と

- 寝ているとき、よく足がつる
- 足が重くてだるい
- 夕方になると足がむくむ
- 足に治りが悪い、湿疹やかゆみがある
- くるぶしの皮膚が茶色くなってきた
- すねの皮膚が硬くなってきた

## セルフチェック「こんな症状はありませんか？」

この弁の機能が悪くなったり、壊れたりすると、血液が逆流して下肢にたまり下肢静脈瘤が発症するのです。静脈が膨らんだり、ウネウネと曲がったりするのは、弁の異常による症状です。足の静脈には、皮膚と



走る「深部静脈」があり、弁の異常を起こしやすいのは表在静脈です。血液がスムーズに上昇しないと、下肢の静脈に老廃物を含んだ血液が貯留し、そのため足がつる、むくくなるなどの症状が起ります。

弁が正常に機能しなくなる原因は、加齢や遺伝的な要因が関係しているといわれていますが、「立ち仕事やデスクワークが多い」「妊娠・出産を経験した」「運動不足で肥満傾向である」「便秘になりやすい」などが該当する人は特に注意が必要です。中でも長時間の立ち仕事やデスクワークは、足の筋肉を動かすことで生まれるポンプ作用が働くことで、下肢に血液がたまりやすくなります。そのため常に弁に負担がかかり故障しやすくなるのです。

根本的な治療では、静脈の逆流を止める手術を行います。主な治療法には「硬化療法」「血管内焼灼術」「ストリッピング術」があります。

硬化治療は、静脈に硬化剤を注入して意図的に炎症を起こすることで、弁が壊れて血液が逆流している静脈を閉塞させる治療法です。

血管内焼灼術は、静脈内にカテーテルという細い管を入れ、逆流している静脈を焼灼して閉塞させます。カテーテルにはレーザーと高周波の2種類があります。

ストリッピング術は、皮膚を切開して逆流している静脈を引き抜いてしまう治療法です。百年以上の歴史がある治療法ですが、最近は皮膚切開の必要がなく、痛みも少なくて済むのが静脈に数センチ間隔にある逆流防止「弁」です。

下肢静脈瘤はすぐに命に関わる病気ではありませんが、下肢の不調や見た目の悪さから審美面での悩みにつながり、QOL（生活の質）を大きく低下させます。放置せず、早めにこの病気に詳しい医師の診察を受けることをお勧めします。

**治療法は「引き抜く」から  
「焼く」に変化**



監修：斎藤 陽先生  
● 目黒外科 院長

## 主な下肢静脈瘤は4種類

下肢静脈瘤は大きく「伏在型静脈瘤」「側枝型静脈瘤」「クモの巣状静脈瘤」「網目状静脈瘤」に分けられます。

「伏在型静脈瘤」は伏在静脈の弁不全に起因する伏在静脈およびその側枝の拡張による下肢静脈瘤のことです。「側枝型静脈瘤」は伏在静脈の弁不全は

なく、側枝静脈単独の弁不全による下肢静脈瘤です。太ももやひざ、ふくらはぎにある直径0.1~1ミリの毛細血管でできた静脈瘤が「クモの巣状静脈瘤」で赤や紫の血管が浮き出ます。「網目状静脈瘤」は太ももやひざ、ふくらはぎに多く現れる直径2ミリ以下の青色の静脈瘤で、クモの

巣状静脈瘤とつながっていることもあります。

他にも、女性特有の妊娠中に現れることが多い陰部静脈瘤があります。子宮や卵巣など骨盤内の静脈から発生するため骨盤静脈瘤とも呼ばれます。



Mさんの言うように、近年紙オムツが進化している商品が多くあります。「オムツ」と

介護  
暮らしへ  
太田差恵子

## 離れて暮らす親のケア 「いつも心は寄り添つて」

vol.143

### さりげなく 紙パンツ情報を

加齢に伴い尿漏れや失禁が増えることは広く知られています。けれども、「恥ずかしいこと」と考える親もいて、子はサポートに頭を悩ますことがあります。

Mさん(女性50代)の両親(80代)は車で2時間ほどの実家で2人暮らし。月に1回は様子をうかがうようにしていますが、そのため、まずすることはトイレ周りの掃除。半年ほど前から汚れていることが多い、臭いがすることもあるのだそうです。Mさんは、母親がトイレに間に合わせに粗相しているのではと推測。母は気位が高いので、詳しくは聞けないんです。きっと、拭き掃除はしているのだろうけれど難なんでしょう。一度、母親に「トイレ、臭わない?」と言ったところ、「お父さんがお漏らしするのよ」とかわされたそうです。

Mさんの両親はいたって健康なので、介護保険の認定は受けていません。自費で週1回、ホームヘルパーに掃除をしてもうことを提案していますが、母親は「要らない」と言います。「今は、紙パンツをはいてくれないかと画策中です」とMさん。「次に行くとき、『これ、すごく快適らしいよ』と、そっと置いてこようと思っているんです」。

親しい人ほど、丁寧な説明、会話を  
精神科医 大野裕  
vol.71

言うと拒否していた親が、「パンツと表現したら受け入れた」との声を聞くこともあります。確かに「困った」と悩んでいる親もいるのではないかでしょうか。プライドを傷つけないよう提案できれば、日々の暮らしのがより快適なものになるかもしれません。

### ほつとひと息、こころにビタミン

精神科医  
大野裕

vol.71

「コミュニケーション」というのは難しいものですが、自分が正しいと思って助言したことや、思うように相手の人に理解してもらえないことがあります。このようにしてもらいたいと考えて話しても、思うように動いてもらえないこともあります。このようにしてもらえないことも少なくありません。そうすると、イライラして、ついキツい言い方になってしまったり関係がこじれてしまします。

しかし、親しい人だからこそ、自分の思いが伝わりにくい場合もあります。親しいから分かつてもらつて当然だという思いが強いと、説明がなおざりになつてしまつて、分かりにくくなることがあります。

いくら親しくても、たとえ家族であつても、相手の人は、自分とは違う人間です。親しき仲にも礼儀ありといわれますが、その中には、親しいからといって何でも分かり合えるわけではありません。親しい関係にあるほど、期待値



### COML 患者の悩み相談室

Vol.83

#### 私の相談

### 面会時間が合わない母の転院先 また病院を探すしかないですか?



86歳の母が高熱を出し、呼吸が苦しいと言つて動けなくなったらしく、救急車で大学病院に運ばされました。誤嚥性肺炎だと分かり、大学病院では「当院は高度先進医療を提供する急性期病院なので、誤嚥性肺炎の場合は別の病院に転院していただく必要があります」と言われたそうです。母は弟夫婦と同居しているので、弟がキーパーソンとなってさまざまな説明を受けています。ただ私も近くで暮らしているので、その大学病院の入院患者との面会ルールである1日30分までを最大限に生かして母と面会するようしていました。

ところが、入院から2週間たつて転院先が決まり、次の病院に転院したところ、その病院では面会は平日の午後2時から4時の間の15分に限定されていると分かりました。私は平日は仕事をしているので、午後の指定された2時間に面会するには不可能なのです。それに医師から、母の年齢を考えると、この先回復する可能性はかなり低いと言われています。それならば、できるだけ家族や親戚にも会う機会を作りたいと思うのですが、その面会時間だととても実現する可能性はありません。

面会時間がもっと自由で、週末も可能な病院を探して転院するしか方法はないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したとはいえ、いまだに厳しい面会制限をしている病院は少なくありません。また、11~12月にかけてインフルエンザの感染者も急増したことを受け、再び制限を厳しくした医療機関もあるようです。コロナ禍で入院患者への厳しい面会制限を受けて、せめて家族でみとりたいと、終末期において在宅医療を選ぶ家族も増えたようです。例えば、現段階で自宅で見るという可能性を探るのも一つの方法かもしれません。まずは担当医に現在の病状で在宅医療に移行する可能性を確認し、家族で在宅医療の実現について話し合ってみてはいかがでしょうか。それが無理であれば、現在の病院でもう少し緩やかな面会制限にならないかを確認し、認められないなら転院先を検討してみてはどうでしょうか。



回答者  
山口育子(COML)

健康  
マメ知識

すこやか特集 Part 2

### 下肢静脈瘤は何科にかかればいいの

下肢静脈瘤は何科を受診すればいいのでしょうか。監修をお願いした目黒外科の斎藤先生は「診療できる科は心臓血管外科、外科、消化器外科、形成外科などいろいろあります。最近は、診療科目に下肢静脈瘤と記載されている医療機関も増えています。その上で、治療経験者にその医療機関の印象を聞いたり、ホームページで患者さんの経験談(口コミ)を確認したりするのがお勧めです」と話されます。

また信頼できる医師を見つけるポイントも教えていただきましたので参考にしてください。

- 患者の話をきちんと聞いてくれる
- 病状を分かりやすく説明してくれる
- 手術実績をHPなどで開示している
- 学会で発表している
- すぐに手術を勧めない

認定NPO法人ささえい医療人権センターCOML(コムル)

「賢い患者になりましょう」を合言葉に、患者中心の開かれた医療の実現を目指す市民グループ

電話医療相談 TEL 03-3830-0644

〈月・水・金 10:00~17:00 / 土 10:00~13:00〉

ただし、月曜日が祝日の場合は翌火曜日に振り替え



詳しくはCOML  
ホームページへ

山口理事長が  
パーソナリティを務める  
賢い患者になろう!

ラジオNIKKEI 第1  
第4金曜日17:20~17:40配信!  
ポッドキャストでも聴けます

